

STEP 1

NEC

はじめにお読みください

ISDNターミナルアダプタ

Aterm® IT60L/D (PC-IT60LD1A)

Aterm® IT60L/D(S) (PC-IT60LD1A(S))

1. ご使用の前に
2. 接続とその確認をする
3. Atermを使えるようにする



マニュアルの 主な内容

Atermには、次のマニュアルが用意されています



Step1 「はじめにお読みください」

Atermを使用するために必要な手続き、接続のしかた、基本的な設定、インターネットへの接続までを説明しています。

最初にパソコンのOSや電話機別に必要な手続きや設定を図表にして記載しています。

初めてAtermを使用するときには、必ずお読みください。



Step2 「活用マニュアル」

Atermの全ての機能とその操作方法および設定方法について説明しています。

「はじめにお読みください」の後にお読みいただき、あなたの通信環境に合わせた設定をおこなってください。



「お困りのときには」

Aterm使用中に何かトラブルが起きたときの症状と対策をQ&A方式で説明しています。

その他、問い合わせ先やサービスステーション、AtermのホームページのURLも記載しています。

「らくらくウィザード」を使ってうまく設定できなかったときの手動によるインターネットの接続の方法やWindows NT®4.0でのインターネットへの接続方法等も記載しています。

はじめに

このたびは、AtermIT60L/Dおよび AtermIT60L/D(S) をご購入いただきありがとうございます。
どうぞございます。

AtermIT60L/Dおよび AtermIT60L/D(S)は、ISDN網「INSネット64」にパソコンや電話機、ファクス、モデム等を接続するためのターミナルアダプタです。

本書では、AtermIT60L/Dおよび AtermIT60L/D(S)各機種種の共通の記述に関しては、「Aterm」と表現しています。

本書では、Atermをご購入いただいてからご使用いただくための手続き、設置・接続、基本設定、インターネットへの接続までを説明しています。

本書をひとつお読みになれば電話機とファクスの電話番号での呼び分けからインターネットアクセスまでができるようになります。

本装置をご使用前に、本書を必ずお読みください。また、本書は読んだあとも大切に保管してください。

本書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本装置を安全に正しくお使いいただくために守っていただきたい事項を示しています。その表示と図記号の意味は次のようになっています。

安全に正しくお使いいただくための表示について

-  **危険** : 人が死亡するまたは重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
-  **警告** : 人が死亡するまたは重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
-  **注意** : 人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
-  **お願い** : 本装置の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止をまねく内容を示しています。

絵表示の例



○記号は禁止の行為であることを告げるものです。

図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

もくじ

はじめに	i
もくじ	ii
1 ご使用の前に	1-1
1-1. Aterm を使用できるようにするためには	1-2
1-1-1. Aterm の設定のしかた	1-3
● 電話機だけを使う場合	1-4
● Windows98/Windows95 を使う場合	1-5
● Macintosh を使う場合	1-6
1-2. Aterm をご使用になるための条件	1-7
1-2-1. INS ネット 64 と機器の準備	1-7
● INS ネット 64 の契約はお済みですか?	1-7
● 回線用のコンセントはモジュラタイプですか?	1-7
1-2-2. 電話番号でアナログポートを呼び分けたい場合の条件	1-8
① i・ナンバーを使って電話の呼び分けをする場合	1-8
② ダイヤルインサービスを使って電話の呼び分けをする場合	1-9
1-2-3. インターネットの接続をおこなう場合	1-11
● プロバイダとの契約の手続きには次のものがあります。	1-11
● ホームページや電子メールを見るときは	1-11
1-3. 添付品を確認する	1-12
1-4. 各部の名称とはたらき	1-14
1-5. Aterm を設置するときのご注意	1-19
2 接続とその確認をする	2-1
2-1. 接続のしかた	2-2
2-1-1. 全体接続図	2-2
● 電話機やパソコンを接続する (パソコンを USB ポートに接続する場合)	2-2
● 電話機やパソコンを接続する (パソコンをデータポートに接続する場合)	2-4
2-1-2. 電話機やファクス/モデムの接続	2-6

2-1-3. INS ネット 64 の接続 2-7

2-1-4. パソコンの接続 2-7

- USB ポートに接続する場合 2-7
- データポートに接続する場合 2-8

2-1-5. アースと電源の接続 2-9

2-2. 電源を入れる 2-10

2-3. 電話が使えることを確認する 2-11

3 Aterm を使えるようにする (基本設定をする) 3-1

3-1. パソコンから設定する 3-2

3-1-1. Windows®98/Windows®95 ユーザの場合 3-2

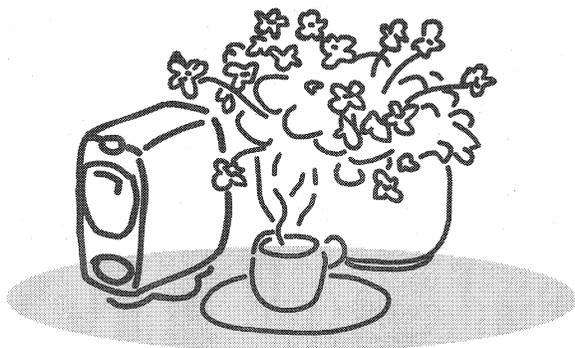
- らくらくウィザードを使う 3-2
- 「らくらくウィザード」をインストールする 3-2
- らくらくウィザードで設定する 3-5
- インターネット接続に関する設定 3-13
- 日付・時刻を設定する 3-18
- インターネットへ接続する 3-20
- インターネットの接続を切断する 3-22

3-1-2. Macintosh ユーザの場合 3-24

- iMac、Power Macintosh G3 ユーザの場合 3-24
- iMac、Power Macintosh G3 の環境を確認する 3-24
- Aterm USB ドライバをインストールする 3-25
- Aterm をパソコンに認識させる 3-26
- らくらくユーティリティをインストールする 3-27
- らくらくユーティリティの基本操作について 3-27
- らくらくユーティリティで設定する 3-28
- インターネット接続に関する設定 3-34
- システムソフトウェアが漢字 Talk 7.6 以上の場合 3-34
- Performa シリーズをお使いの方に 3-34
- TCP/IP の設定をする 3-35
- モデムの設定をする 3-37
- リモートアクセス (または PPP) の設定をする 3-38
- インターネットへ接続する 3-41
- インターネットの接続を切断する 3-43

もくじ っづき

3-2. 電話機から設定する(らくらくテレホン設定)	3-44
(1) 日付・時刻を設定する	3-44
(2) 使用ポートと接続機器を設定する	3-45
(3) 発信者通知番号を設定する	3-46
① i・ナンバー契約の場合	3-46
② ダイヤルインサービス契約の場合	3-47
(4) アナログポートを別々の電話番号で呼び分ける	3-49
① i・ナンバー契約の場合	3-49
(1) 電話番号を登録する	3-49
(2) 呼び出す電話番号(i・ナンバー)を割り当てる	3-51
(3) i・ナンバー着信選択を設定する	3-52
② ダイヤルインサービス契約の場合	3-53
(1) 電話番号を登録する	3-53
(2) 呼び出す電話番号(ダイヤルイン番号)を割り当てる	3-55
(3) グローバル着信選択を設定する	3-57
4 付録	4-1
4-1. INS ネット64のお申し込み	4-2
4-2. 停電時に Aterm を使うために	4-5
5 索引	5-1



1 ご使用の前に

Atermをご使用になる前に、
知っておいていただきたいことや
確認していただきたいことを説明しています。

1-1. Atermを使用できるようにするためには

本書「はじめにお読みください」は、Atermを使用するための基本的な手順について説明しています。

必ず、よくお読みのうえ正しく使用してください。

Atermを使用できるようにするためには、あらかじめ設定をする必要があります。ただし、次のような場合は設定をする必要がありません。

- データポートやUSBポートにパソコンを接続せず、アナログポートのみを使用する場合で、Atermのアナログポートすべてに電話機を接続して、契約者回線番号で同時に呼び出して使用する場合

上記以外の場合は、設定が必要です。

また、1-4～1-6ページに、Atermの設定についてのフローチャートを記載していますので、ご使用の環境に応じてご覧ください。

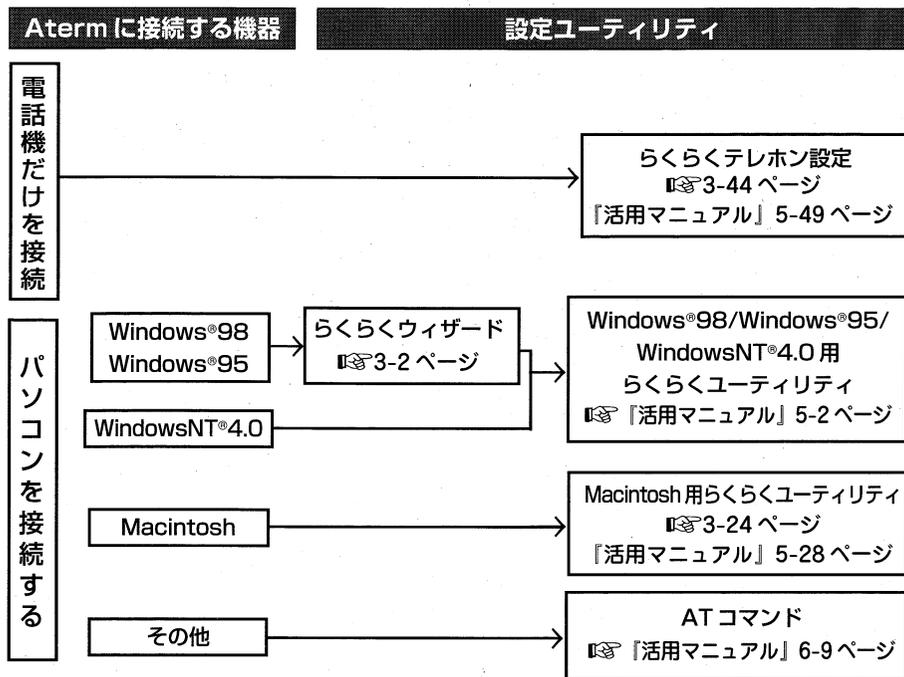
Windows®98 は Microsoft® Windows®98 operating system の略です。

Windows®95 は Microsoft® Windows®95 operating system の略です。

WindowsNT®4.0 は、Microsoft® WindowsNT® operating system version 4.0 の略です。

1-1-1. Aterm の設定のしかた

Atermには、いくつもの設定ツールがあります。接続している機器によって設定ツールを選んでください。



- らくらくテレホン設定では Atermの液晶ディスプレイを見ながら電話機からアナログポートに関する設定ができます。
- らくらくユーティリティでは ... パソコンからアナログポートとデータポートに関する設定ができます。
- らくらくウィザードでは パソコンから基本的なアナログポートの呼び分けとパソコンのインターネット接続設定、USBドライバのインストールができます。

※ お客様のパソコン環境によっては、らくらくウィザード、らくらくユーティリティがご利用になれない場合があります。詳細については、『お困りのときには』㊦1-10 ページを参照してください。

●電話機だけを使う場合

電話機を使って、日付・時刻の設定から電話番号でアナログポートを呼び分けるまでの設定をします。

📞 NTT INSネット64の契約をする 📖1-7ページ

電話番号で
呼び分ける

電話番号で呼び分ける場合は、
INS ネット64のi・ナンバー／ダイヤルインの契約をする 📖1-8ページ

回線がINS ネット64に切り替わっていることを確認する 📖1-7ページ

Atermの設置・接続
必ずアナログAポートには電話機を接続する

アナログAポートは、
電池を入れると停電時
でも使用できます。

Atermの電源を入れ、接続した電話がつながることを確認する

日付・時刻の設定をする

使用ポートと接続機器を設定する

発信時通知番号を登録する
(INS ネット64のi・ナンバー／ダイヤルインサービス契約時のみ)

(1) 電話番号を登録する
(INS ネット64のi・ナンバー／ダイヤルインサービス契約時のみ)

電話番号で
アナログポートを
呼び分ける

(2) 呼び出す電話番号を割り当てる
(INS ネット64のi・ナンバー／ダイヤルインサービス契約時のみ)

(3) グローバル着信選択を設定する
(INS ネット64のi・ナンバー／ダイヤルインサービス契約時のみ)

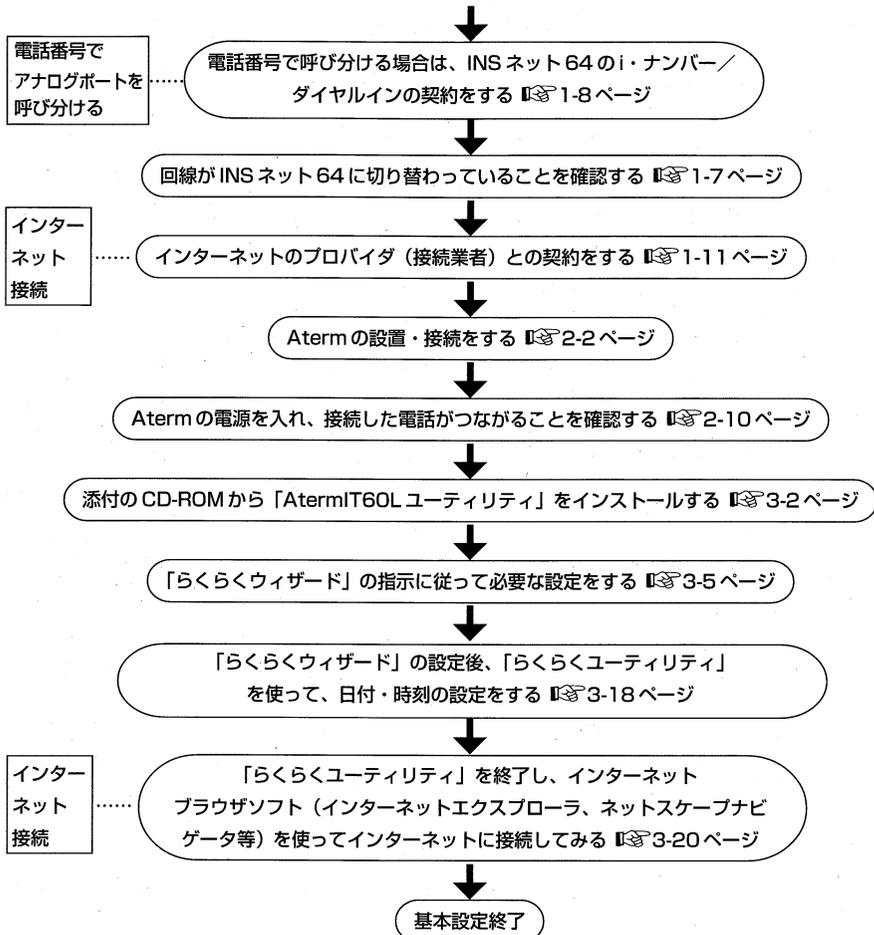
基本設定終了

● Windows98/Windows95 を使う場合

データポートまたはUSBポートを使って、インターネットに接続するための設定までをおこないます。

電話番号でのアナログポートの呼び分けも「らくらくウィザード」の中で設定をすることができます。

① NTT INSネット64の契約をする Ⅱ☎1-7 ページ

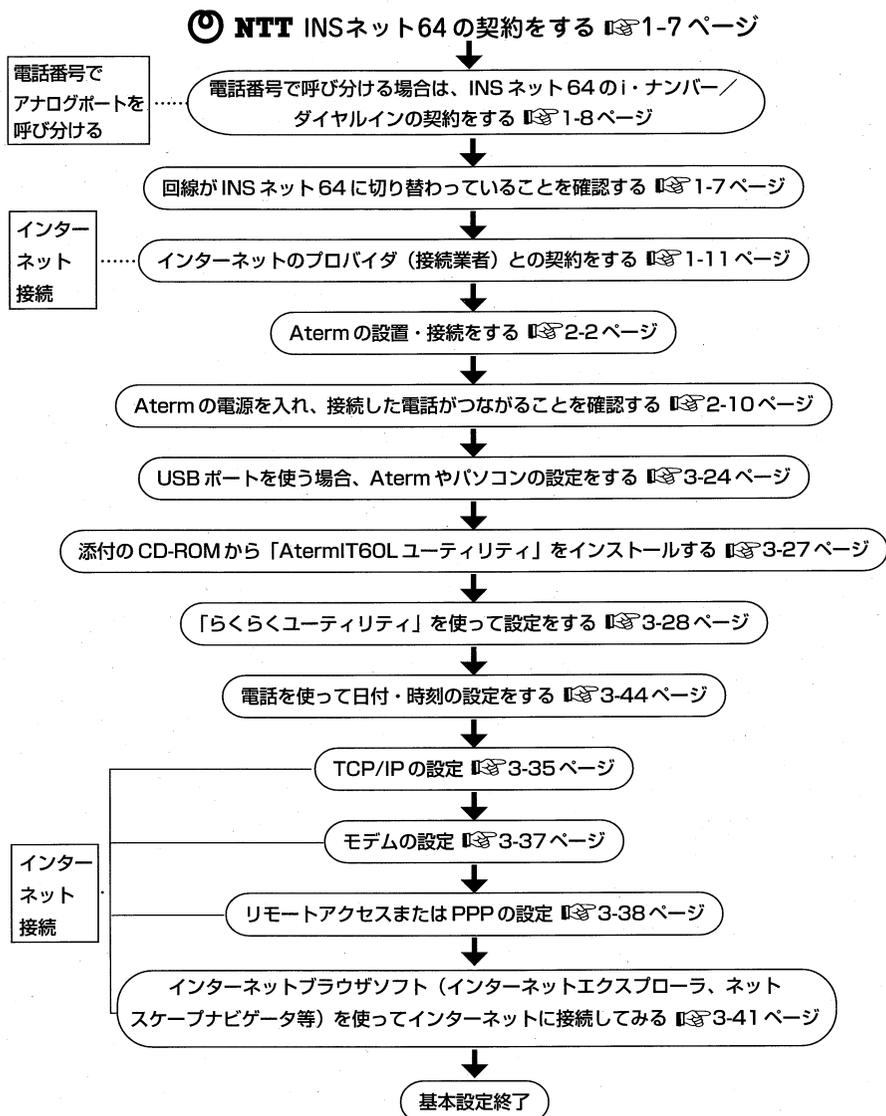


* インターネットプロバイダとの契約をしていない方でも、「らくらくウィザード」の設定の中で、NECのインターネットプロバイダ「BIGLOBE」とのオンライン・サインアップ(パソコン通信を使った契約)をすることができます。

● Macintosh を使う場合

データポートまたはUSBポートを使って、インターネットに接続するための設定までをおこないます。

電話番号でアナログポートの呼び分けをする場合は、「AtermIT60Lユーティリティ」で設定をすることができます。



1-2. Atermをご使用になるための条件

Aterm をご使用になるには次の条件がそろっていることが必要です。条件がそろっていないと Aterm を使用することができないのでご注意ください。

1-2-1. INS ネット 64 と機器の準備

● INS ネット 64 の契約はお済みですか？

Aterm は、ISDN 網（デジタル回線）「INS ネット 64」接続用のターミナルアダプタ（TA）^(*)ですので、使用するときには必ず INS ネット 64 の契約が必要です。

契約がすんでいない場合は、「INS ネット 64 のお申し込み」（☎4-2 ページ）を参照して申し込みをおこなってください。

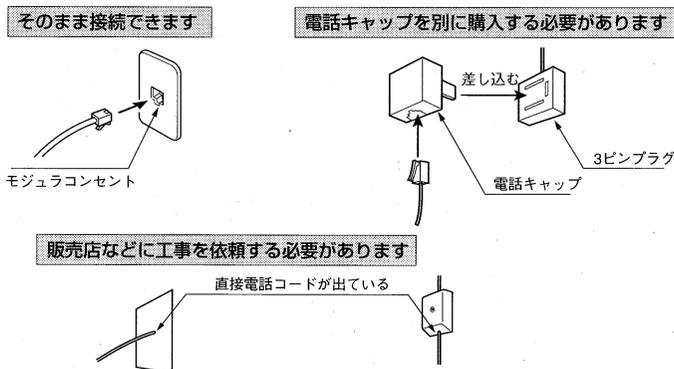
また、申し込みをしていますが、回線が INS ネット 64 に切り替わるまでは、Aterm を使用することはできません。

INS ネット 64 に切り替わる日時をご確認ください。

(*)ターミナルアダプタ（TA）とは、電話機、ファクス、モデム等のアナログ機器を使用するときやデジタル信号をアナログ信号に変換し、パソコンを使った通信をおこなう場合には、デジタル信号をパソコン用の信号に変換するための装置です。デジタル回線を使ってアナログ機器を使用するときやデジタル回線によるパソコン通信をおこなうときには、必要な装置です。

● 回線用のコンセントはモジュラタイプですか？

回線用のコンセントの形状によっては、そのまま接続できない場合があります。形状をご確認ください。



1-2-2.電話番号でアナログポートを呼び分けたい場合の条件

電話番号で、アナログポートを呼び分けるためには、①INS ネット 64 の i・ナンバーを契約する、②INS ネット 64 のダイヤルインサービスを契約する、の2通りの方法があります。条件が異なりますので、それぞれの説明をお読みください。

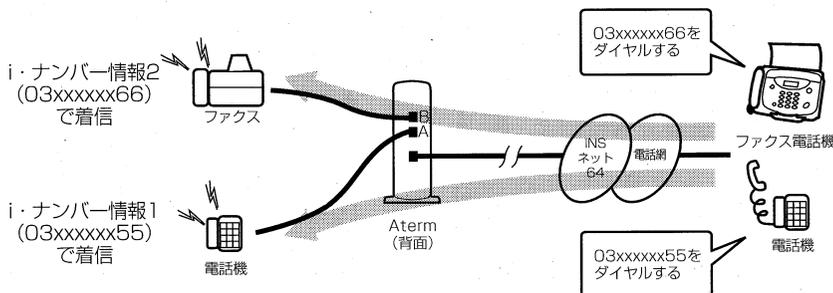
① i・ナンバーを使って電話の呼び分けをする場合

- INS ネット 64 の i・ナンバーの契約が必要です（月々の利用料金がかかります）
INS ネット 64 の i・ナンバーはINS ネット 64 の契約時に申し込むことができます。i・ナンバーの契約をすると、2つの電話番号を持つことができるので相手の方がかけてきたときに通知される i・ナンバー情報ごとに、着信するポートを特定することができます。
1つ目の電話番号（契約者回線番号）が、i・ナンバー情報 1、2つ目の電話番号（追加番号）が i・ナンバー情報 2 となります。

i・ナンバーで電話機とファクスを呼び分ける例

アナログポート	アナログポート接続機器		電話番号	着信するポート	
				A	B
A	電話機（工場出荷状態）	i・ナンバー情報 1	03xxxxxx55	✓	
B	FAX / モデム	i・ナンバー情報 2	03xxxxxx66		✓

※ アナログポートを [使用しない] に設定した場合は、どの着信も受け付けません。



設定方法

Windows98/Windows95（らくらくウィザードを使用） 3-9 ページ

Windows98/Windows95, Windows NT4.0（らくらくユーティリティを使用）

3 『活用マニュアル』 5-6 ページ

Macintosh 3-29 ページ

電話機 3-49 ページ

② ダイヤルインサービスを使って電話の呼び分けをする場合

- INSネット64のダイヤルインサービスの契約が必要です(月々の利用料金がかかります)

INSネット64のダイヤルインサービスの契約はINSネット64の契約時に申し込むことができます。ダイヤルインサービスの契約をすると契約者回線番号の他にダイヤルイン番号が割り当てられます。この契約者回線番号とダイヤルイン番号の数だけ電話を呼び分けることができます。

- 契約時には「グローバル着信」を「利用」の契約にします

「グローバル着信」を「利用」の契約にすると、契約者回線番号の着信には、ターミナルアダプタ(TA)に接続した機器を全て呼び出すようになりますが、Atermには「グローバル着信選択」という機能があるため、契約者回線番号の着信についても特定のポートを呼び出すことができます。

例えば、アナログ機器(2台)の呼び分けをする場合は、契約者回線番号+1つのダイヤルイン番号で呼び分けをすることができます。

設定方法

Windows98/Windows95(らくらくウィザードを使用) ㊦ 3-10ページ

Windows98/Windows95, Windows NT4.0(らくらくユーティリティを使用)

㊦ 『活用マニュアル』5-5ページ

Macintosh ㊦ 3-30ページ

電話機 ㊦ 3-53ページ

次ページに呼び分け例を示します。

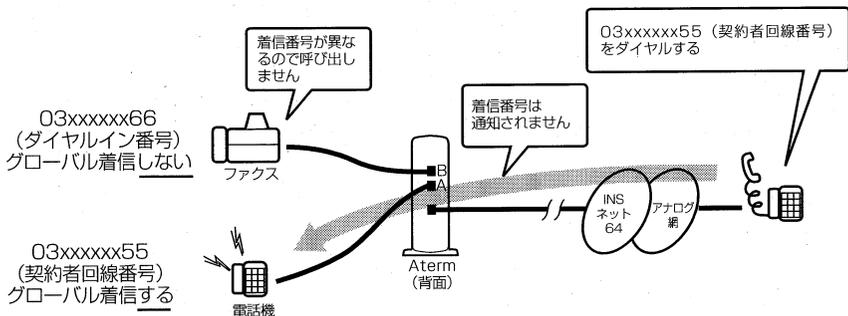
ダイヤルインサービスを利用して電話機とファクスを呼び分ける例

アナログポート	アナログポート 接続機器	契約者回線のグローバル着信		利用する	
A	電話機 (工場出荷状態)	契約者回線番号	03xxxxxx55	着信するポート	
B	FAX / モデム			A	B
		ダイヤルイン番号	03xxxxxx66		✓

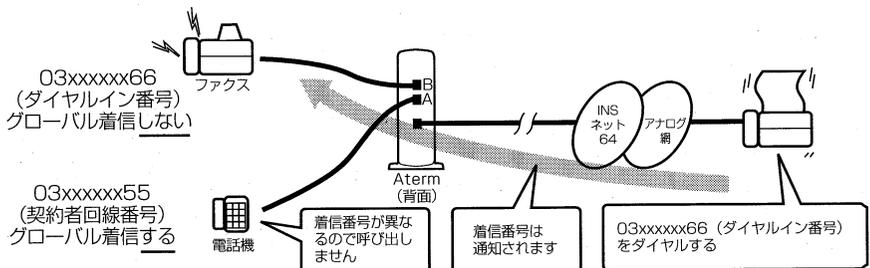
※ アナログポートを [使用しない] に設定した場合は、どの着信も受け付けません。

契約者回線番号への呼び出し： [グローバル着信を利用する] に設定することで、契約者回線番号の着信では番号の通知がなくても呼び出します。

ダイヤルイン番号の着信は、選択した番号と異なる番号が通知されるので、呼び出しません。



ダイヤルイン番号への呼び出し： 番号の通知がない契約者回線番号の着信は呼び出しません。ダイヤルイン番号の着信は、番号が通知されるので、選択した番号と同じ場合に呼び出します。



1-2-3. インターネットの接続をおこなう場合

インターネットを利用するには、インターネットプロバイダ（接続業者）との契約が必要になります。

プロバイダと契約をすると、そのプロバイダのアクセスポイント（パソコンを接続するための電話番号）を通じてインターネットに接続することができます。

●プロバイダとの契約の手続きには次のものがあります。

書面による申し込み

プロバイダから申込書を取り寄せて必要事項を記入してから郵送します。

ユーザー名、パスワード、メールアドレス等を入手するまで1～2週間かかります。

オンライン・サインアップ（通信による手続き）

プロバイダの入会専用ホームページに接続して、必要事項を入力します。

ユーザー名、パスワード、メールアドレス等を短時間で入手することができます。

また、接続するアクセスポイントまでの設定を自動的におこなってくれるものもあるので、面倒な設定をすることなくインターネットに接続することができます。

Windows98/Windows95をご利用の方は、Atermに添付の「らくらくウィザード」を使って、NECのプロバイダサービスBIGLOBEへのオンラインサインアップができますので是非ご利用ください。Macintoshをご利用の方のBIGLOBEへのオンラインサインアップは、BIGLOBEカスタマーサポートへお問い合わせください。

●ホームページや電子メールを見るときは

インターネットに接続してホームページを見たり電子メールを送ったりするには、それぞれ専用のソフトが必要です。

ホームページを見るときは

ブラウザソフト（インターネットエクスプローラやネットスケープナビゲータ等）が必要です。

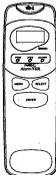
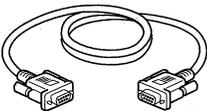
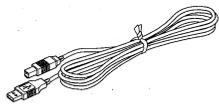
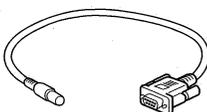
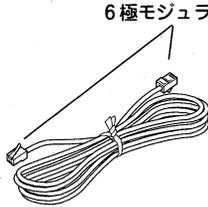
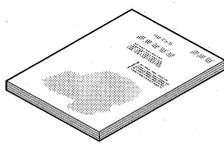
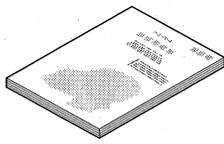
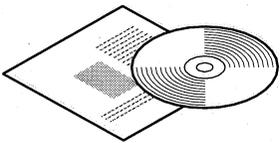
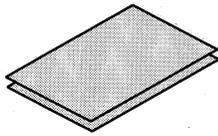
電子メールを使うときは

電子メールソフト（アウトルックエクスプレス等）が必要です。

最近のパソコンには、これらのソフトは添付されていますが、無い場合はあらかじめ用意してください。

1-3. 添付品を確認する

梱包箱を開けたら、まず次のものがそろっていることを確認してください。
もし、不足しているものがありましたら、お買い上げいただいた販売店にご連絡ください。

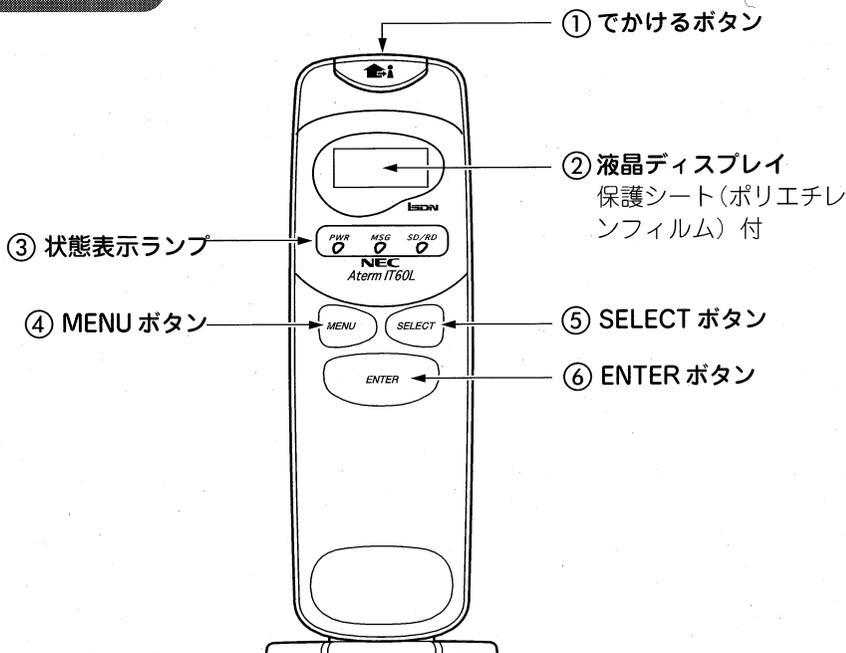
<input type="checkbox"/> 本 体 	<input type="checkbox"/> RS-232C ケーブル(9ピン) (1m) 	<input type="checkbox"/> 縦置きスタンド 
<input type="checkbox"/> USB ケーブル (2m) 	<input type="checkbox"/> Mac 変換ケーブル 	<input type="checkbox"/> INS 回線ケーブル (3m) 6 極モジュラ 
<input type="checkbox"/> はじめにお読みください (本書) 	<input type="checkbox"/> 活用マニュアル 	<input type="checkbox"/> お困りのときには 
<input type="checkbox"/> CD-ROM 「AtermIT60L ユーティリティ集」  「AtermIT60L ユーティリティ集」はパソコンで設定する ときに必要です。 次ページ参照		<input type="checkbox"/> ユーザ登録ガイド <input type="checkbox"/> 保証書 

CD-ROM 在中ソフトウェア

- ・ IT60L らくらくウィザード (Windows98/Windows95 版)
- ・ IT60L らくらくユーティリティ (Windows 版、Macintosh 版)
- ・ IT60L らくらくバージョンアップ (Windows 版、Macintosh 版)
- ・ UI メール EX (Windows 版、Macintosh 版)
- ・ USB 関連ソフトウェア (Windows98/Windows95 版、Macintosh 版)
など

1-4. 各部の名称とはたらき

前面からみたところ



① でかけるボタン

お出かけ設定をするときに押します。ボタンが赤色に点灯します。お出かけ設定時に着信があると点滅します。もう一度ボタンを押すとお出かけ設定を解除し、ボタンを消灯します。

② 液晶ディスプレイ

保護シート (ポリエチレンフィルム) 付
液晶ディスプレイには、回線や通信機器の使用状況、設定時の内容、日時を表示などを絵文字 (ピクトグラム) やメッセージで表示します。

③ 状態表示ランプ

PWR (POWER) ランプ

- 電源が入っているときに、緑色に点灯します。

- 電池で動作しているときは、緑色に速く点滅します (1秒間に2回)。電池の残量が少なくなると、点滅が遅くなります (1秒間に1回)。

MSG (MESSAGE) ランプ

- 電子メール着信通知、UIIメールが入っているときに、オレンジ色に点滅します。

SD/RD ランプ

- SD/RD (Send Data/Receive Data) ランプ
- パソコンからAtermにデータが送られているときに、緑色に点滅します。
- Atermからパソコンにデータが送られているときに、赤色に点滅します。
- USBポートでデータ通信をおこなっているときは、点灯/点滅はしません。

④ MENU ボタン

各種の設定をするときに押します。
設定中にMENUボタンを押すとキャンセル(解除)の働きをします。

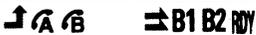
⑤ SELECT ボタン

設定をするときの設定項目を変えるときに押します。ボタンを押すたびに設定項目が変わります。

⑥ ENTER ボタン

設定項目を決めるときに押します。
128kbps マルチリンク PPP 通信中にENTERボタンを押すと、通信速度を変えること (64kbps ↔ 128kbps) ができます。

絵文字 (ピクトグラム) について




フレックスホンの着信転送や疑似着信転送が設定してあるときに表示されます。



アナログ (A,B) ポートに接続している通信機器が受話器をあげているときに表示されます。



データ通信中に表示されます。

( : 1つのBチャンネルで通信中 (64kbps)
 : 2つのBチャンネルで通信中 (128kbps))

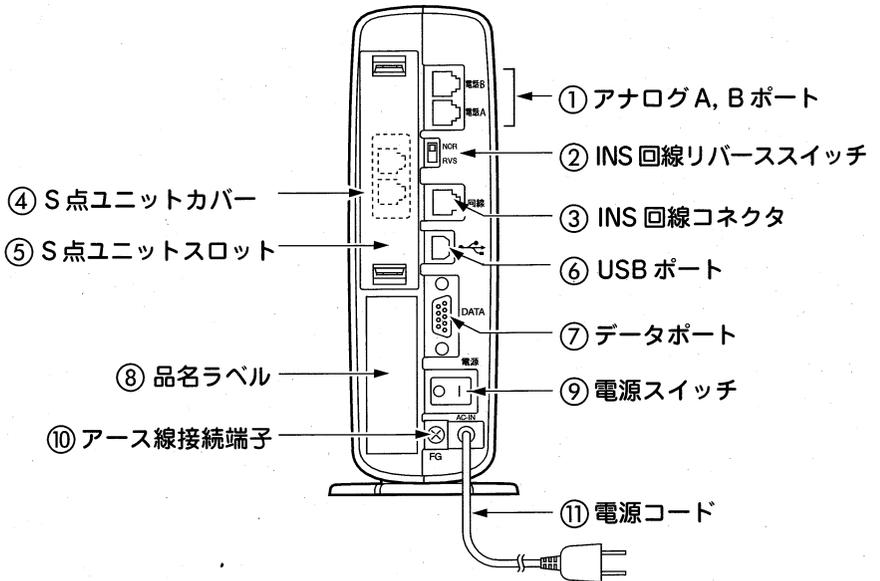


B1チャンネル、B2チャンネルを使用中に表示されます。



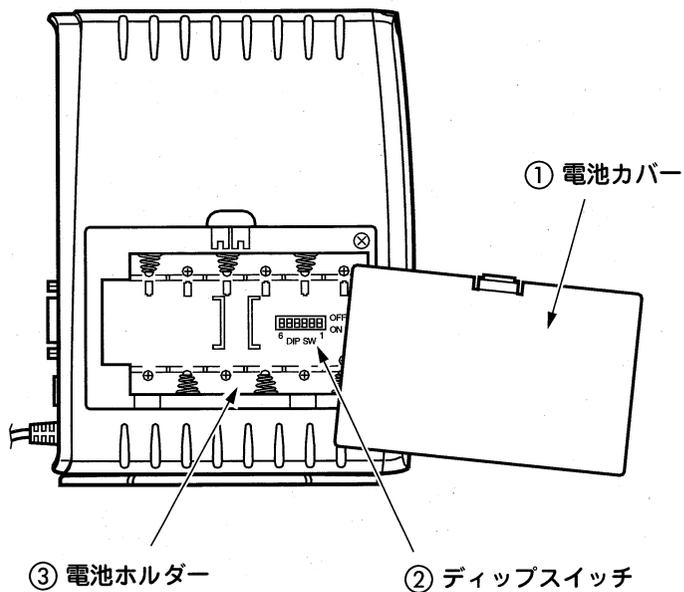
データポートにパソコンが接続され、パソコンのER (Equipment Ready) 信号がオンしているときに表示されます。

背面からみたところ



- ① アナログ A, B ポート 電話機、ファクス、モデムなどを接続するコネクタです。
- ② INS 回線リバーススイッチ INS ネット64の配線が逆転しているとき(同期がとれないとき)に切り替えます。切り替えるときは、細く硬いもの(例えば、つまようじの先など)を使ってください。
- ③ INS 回線コネクタ 添付の回線ケーブルを使用して、INS ネット64と接続するコネクタです。
- ④ S 点ユニットカバー 別売りのS点ユニットの着脱時にこのカバーをはずします。
- ⑤ S 点ユニットスロット 別売りのS点ユニット(PC-IT/U03)または高機能S点ユニット(PC-IT/UX2)を増設するための拡張スロットです。
- ⑥ USB ポート パソコンのUSBポートに接続するコネクタです。
- ⑦ データポート 添付のRS-232Cケーブルを使用してパソコンに接続するコネクタです。
- ⑧ 品名ラベル Atermの認定番号や製造番号などが記載されています。
- ⑨ 電源スイッチ 電源をオン/オフするスイッチです。オンにするときは「I」側を押します。
- ⑩ アース線接続端子 アース線を取り付けるための端子です。
- ⑪ 電源コード AC100Vの家庭用電源コンセントに接続するコードです。

左側面からみたところ



- ① 電池カバー ツメの部分を押しながら、カバーを持ち上げるようにするとはずれます。
- ② ディップスイッチ iMac の設定やOCN エコノミーなどを利用するときに設定します。
- ③ 電池ホルダー 停電モードで使用する場合、市販の単3アルカリ乾電池（6本）を入れるためのホルダーです。

1-5. Aterm を設置するときのご注意

警告

ご使用前に

接続とその確認をする

Aterm を使えるようにする

付録

索引

設置場所について

- **風呂、シャワー室への設置禁止**
ふる場やシャワー室などでは使用しないでください。漏電して、火災・感電の原因となります。
- **水のかかる場所への設置禁止**
水のかかる場所で使用したり、水にぬらすなどして使用しないでください。漏電して、火災・感電の原因となります。



電源について

- **商用電源以外の禁止**
AC100V の家庭用電源以外では、絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となります。
差し込み口が2つ以上ある壁の電源コンセントに他の電気製品の電源プラグを差し込む場合は、合計の電流値が電源コンセントの最大値を超えないように注意してください。火災・感電の原因となります。
- **電源コードの取扱注意**
電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物をのせたり、加熱したりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。電源コードが傷んだら、ご購入店またはNECサービスステーションに修理をご依頼ください。
- **ぬれた手での操作の禁止**
ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
- **たこあし配線の禁止**
本装置の電源コードは、たこあし配線にしないでください。たこあし配線にするとテーブルタップ等が過熱・劣化し火災の原因となります。



⚠ 注 意

設置場所について

● 火気のそばへの設置禁止

本装置や電源コードを熱器具に近づけないでください。ケースや電源コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。



● 温度の高い場所への設置禁止

直射日光の当たるところや、温度の高いところ、発熱する装置のそばに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。



● 油飛びや湯気の当たる場所への設置禁止

調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



● さかさま置き禁止

本装置をさかさまに置かないでください。また、縦置きにする場合は必ず縦置きスタンドを使用してください。



● 不安定な場所への設置禁止

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。また、本装置の上に重い物を置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。



● 通風孔をふさぐことの禁止

本装置の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。次のような使い方はしないでください。



- ・ あお向けや逆さまにする
- ・ 収納棚や本棚などの風通しの悪い狭い場所に押し込む
- ・ じゅうたんや布団の上に置く
- ・ テーブルクロスなどを掛ける

● 重ね置きの禁止

本装置を重ね置きしないでください。重ね置きすると内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。



⚠ 注意

電源について

● プラグの取扱注意

電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。

抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。

電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



● アース線の取り付け

万一、漏電した場合の感電事故防止のため、必ずアース線を取り付けてください。

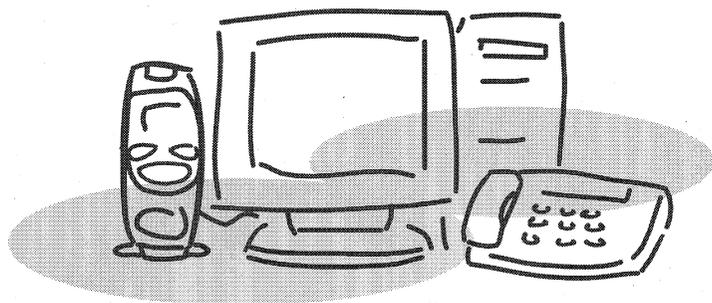


STOP お願い

設置場所について

● 本装置を安全に正しくお使いいただくために、次のような所への設置は避けてください。

- ・ ほこりや振動が多い場所
- ・ 気化した薬品が充満した場所や、薬品に触れる場所
- ・ ラジオやテレビなどのすぐそばや、強い磁界を発生する装置などが近くにある場所
- ・ 高周波雑音を発生する高周波マシン、電気溶接機等が近くにある場所
- ・ 温度変化の激しい場所には置かないでください(クーラーや暖房機のそばなど)。本装置の内部に結露が発生し、火災・感電の原因となります。



2 接続とその確認をする

Aterm の接続のしかたを説明します。
接続が終わったら電話が使えることを確認します。

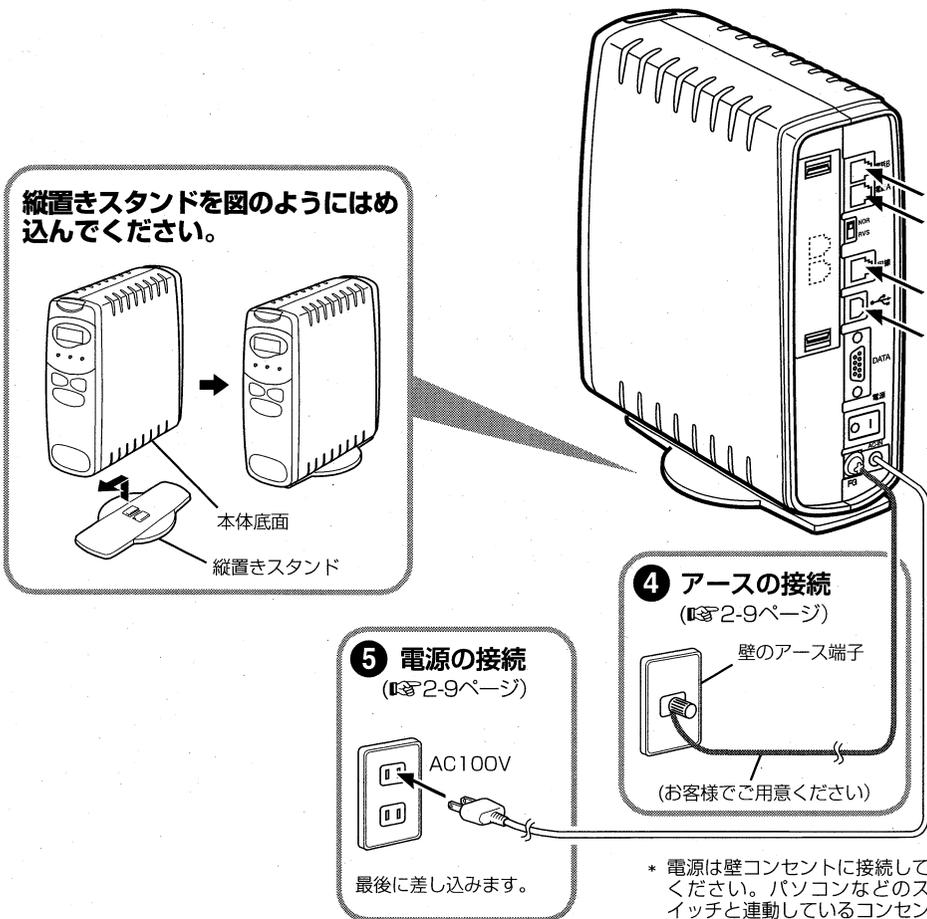
2-1. 接続のしかた

2-1-1. 全体接続図

●電話機やパソコンを接続する（パソコンをUSBポートに接続する場合）

各接続機器の左上に書かれている番号順に接続してください。USBポートはデータポートと同時に使用できません。

AtermのUSBポートはパソコンやOSによっては使用できなかったり、制限事項があります。別冊『お困りのときには』USBについてのQ&Aを参照してください。



* 電源は壁コンセントに接続してください。パソコンなどのスイッチと連動しているコンセントには接続しないでください。



● 落雷およびノイズ対策

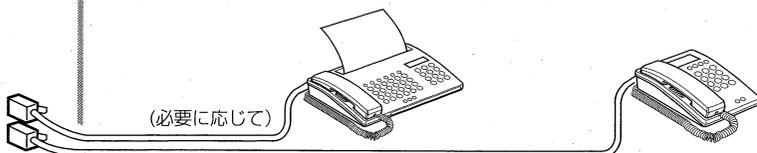
回線や電源コードから入り込むノイズ（雷等）から装置を保護するためにアース線の接続と別売りの雷防護アダプタ（PC-IT/SP01）のご使用を推奨いたします（アース線は別にご用意ください）。ただし、雷防護アダプタを使用しても落雷の程度によっては、二次災害を防止するために装置内の一部分が破られる場合があります。落雷などの天災地変による故障の場合は、保証期間内でも有料修理となりますのであらかじめご了承ください。

● 停電時に Aterm を使うために

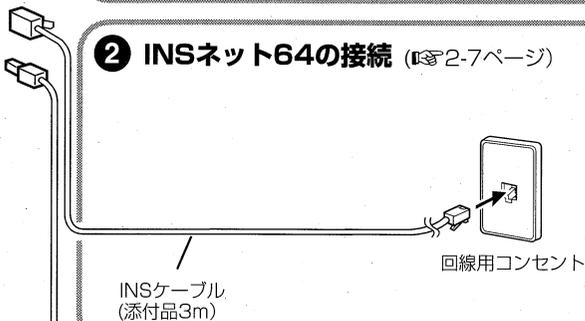
あらかじめ電池ホルダーに停電用の電池をセットしておくことで停電時に電話AポートとUSBポートに接続されている機器を使うことができます。☎4-5ページ

1 電話機やファクス／モデムの接続（☎2-6ページ）

停電時でも使いたい電話は電話Aポート（下）に接続してください。



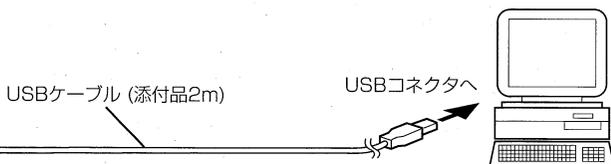
2 INSネット64の接続（☎2-7ページ）



3 パソコンの接続（USBポート）

（☎2-7ページ）

（パソコンを接続する方のみ）



● 電話機やパソコンを接続する（パソコンをデータポートに接続する場合）

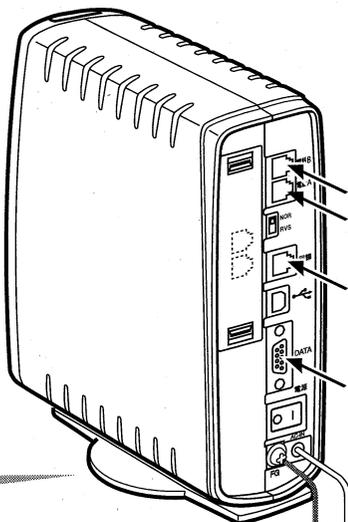
接続には、添付のRS-232C ケーブルを必ずご使用ください。

USBポートとデータポートを同時に使用することはできません。どちらか一方のみを接続してください。両方のポートにケーブルを接続した場合は、USBポートのみが使用できません。

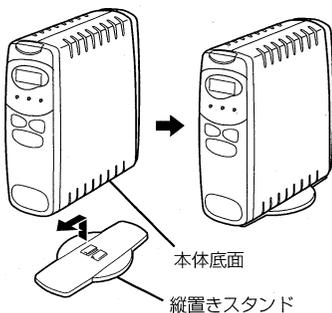


落雷およびノイズ対策

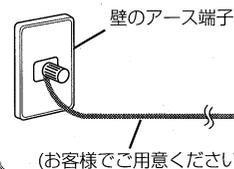
回線や電源コードから入り込むノイズ（雷等）から装置を保護するためにアース線の接続と別売りの雷防護アダプタ（PC-IT/SP01）のご使用を推奨いたします（アース線は別にご用意ください）。ただし、雷防護アダプタを使用していても落雷の程度によっては、二次災害を防止するために装置内の一部分が破される場合があります。落雷などの天災地変による故障の場合は、保証期間内でも有料修理となりますのであらかじめご了承ください。



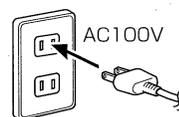
縦置きスタンドを図のようにはめ込んでください。



4 アースの接続 (☞ 2-9ページ)



5 電源の接続 (☞ 2-9ページ)



* 電源は壁コンセントに接続してください。パソコンなどのスイッチと連動しているコンセントには接続しないでください。

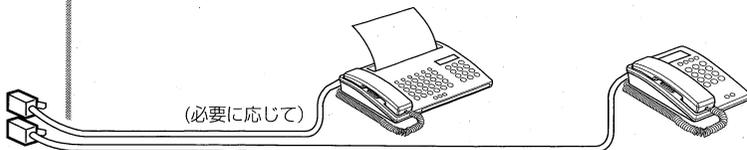


停電時に Aterm を使うために

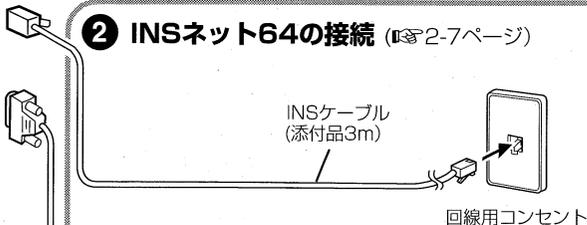
あらかじめ電池ホルダーに停電用の電池をセットしておくことと停電時に電話 A ポートとデータポートに接続されている機器を使うことができます。【2-4-5 ページ】

1 電話機やファクス/モデムの接続 (【2-6 ページ】)

停電時でも使いたい電話は電話 A ポート(下)に接続してください。

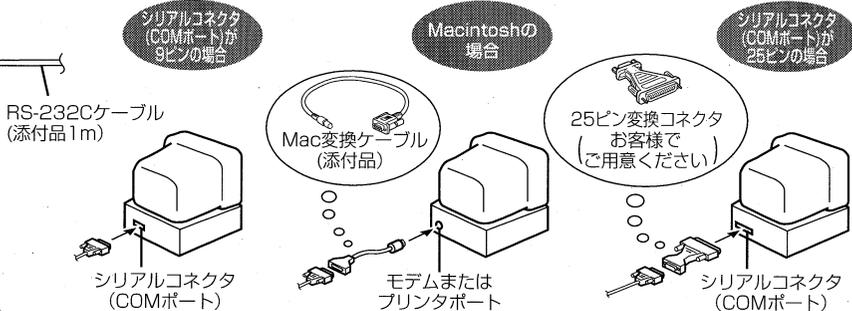


2 INS ネット64の接続 (【2-7 ページ】)



3 パソコンの接続 (【2-8 ページ】)

(パソコンを接続する方のみ)



2-1-2. 電話機やファクス / モデムの接続

アナログポート 電話 A、電話 B に接続できる装置

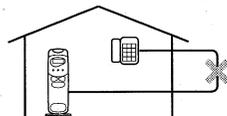
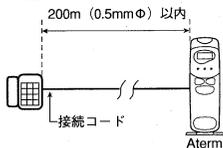
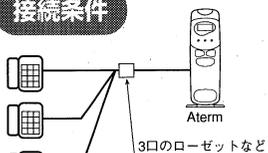
- 端末審査協会の適合マーク「☎」または「☎」が付いている電話機、G3ファクス、モデム（アナログ通信機器）などです。
- ダイヤル方式が「トーン」（プッシュ）のアナログ通信機器です。
（「トーン」は「PB」と表示されている場合もあります）

「ダイヤルパルス」と「トーン」（プッシュ）をスイッチで切り替えられる電話機もあります。設定方法は、お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。

注意!

今までお使いの電話がプッシュホン契約でない場合は、必ず電話機のダイヤル方式を「トーン」（プッシュ）に切り替えてください。

接続条件



- 1つのアナログポートに3台（合計容量：3 μ F/2k Ω 以下）まで接続（ブランチ接続）できます。
接続できるものはアナログ網でブランチ接続可能な装置です。ただし通話できるのは1台のみになります。
- 接続コードの長さは、太さ0.5mm ϕ の線を使って200m以内にしてください。
接続する機器の種類によっては、さらに短くなる場合があります。
- モジュラケーブルや回線ケーブルは、絶対に屋外を通さないでください。雷などによる傷害の原因になります。

参考

あらかじめ電池ホルダーに停電用の電池をセットしておくことで停電時に電話 A ポートに接続されている機器を使うことができます。
☎ 4-5 ページ
停電時でも使いたい電話等は電話 A ポート（下）に接続します。

注意!

Atermのアナログポートは疑似的にアナログ回線と同等の環境を作り出しており、本当のアナログ回線ではありません。従って、ご使用されているアナログ通信機器によってはご使用になれない場合もありますのであらかじめご了承ください。

2-1-3. INS ネット 64 の接続

添付のINS回線ケーブルを使って接続します。Atermの「回線端子」とINSネット64の回線用コンセントを接続します。

接続図



添付のINS回線ケーブルが短いときは、市販の電話機用モジュラーケーブルをお買い求めください。また、回線用コンセントの形状によっては、直接接続できない場合があります。

☞ 1-7 ページ

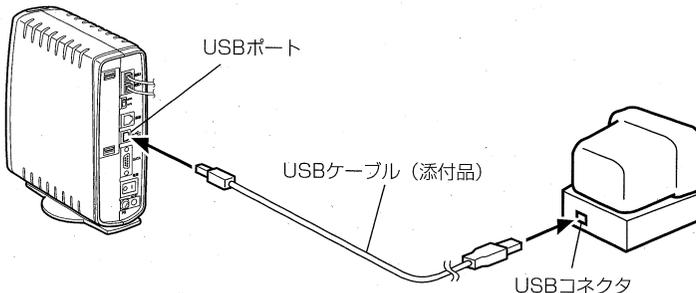
2-1-4. パソコンの接続

● USB ポートに接続する場合

● 接続には、添付のUSBケーブルを必ずご使用ください。

AtermのUSBポートは、パソコンやOSによっては使用できなかったり、制限事項があります。別冊『お困りのときには』USBについてのQ&Aを参照してください。

接続図



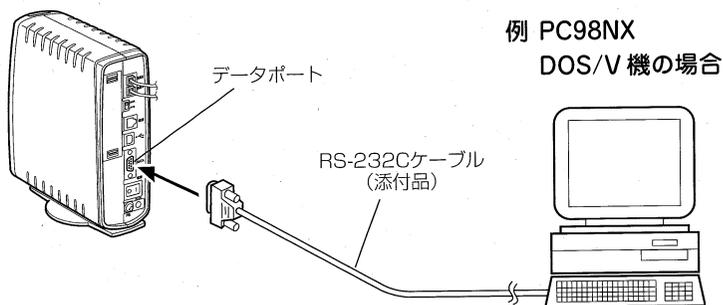
●データポートに接続する場合

●接続には、添付のRS-232Cケーブルを必ずご使用ください。

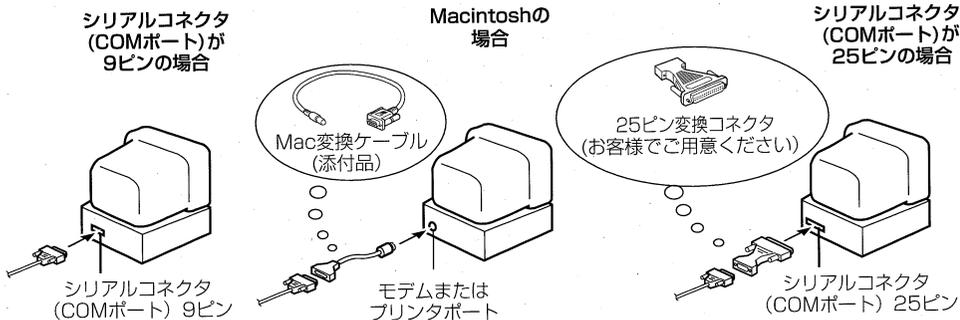
注意!

データポートとUSBポートを同時に使用することはできません。どちらか一方のみを接続してください。両方のポートにケーブルを接続した場合は、USBポートのみが使用できます。

接続図



パソコンの種類により使用するケーブルが違います



2-1-5. アースと電源の接続

ステップ1

アナログポートに接続した電話機の手話機が正しく置いてあることを確認したあと、Aterm 背面の「アース線接続端子」にアース線を接続します

アース線は、添付していませんので、あらかじめお客様でご用意のうえ、壁や電源コンセントのアース端子に接続してください。アース線は、万一の落雷などの電撃事故が起こった際に人身への傷害や機器の損傷を防止するためのものです。



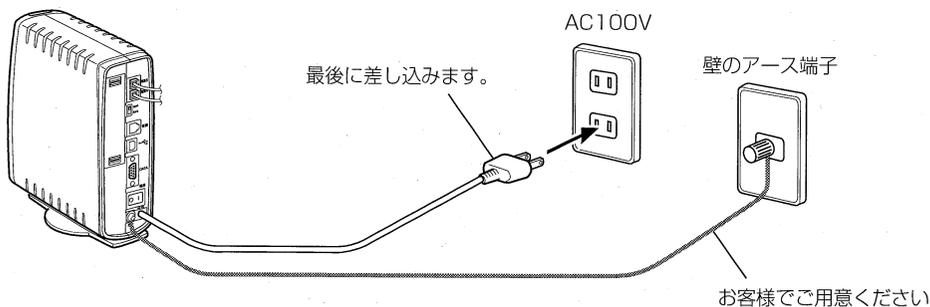
落雷およびノイズ対策

回線や電源コードから入り込むノイズ（雷等）から装置を保護するためにアース線の接続と別売りの雷防護アダプタ（PC-IT/SP01）のご使用を推奨いたします。

ただし、雷防護アダプタを使用しても落雷の程度によっては、二次災害防止のため装置内の一部が破壊される場合があります。落雷等の天変地変による故障の場合は、保証期間内でも有料修理となりますのでご了承ください。

ステップ2

Aterm の電源プラグを電源コンセントに接続します

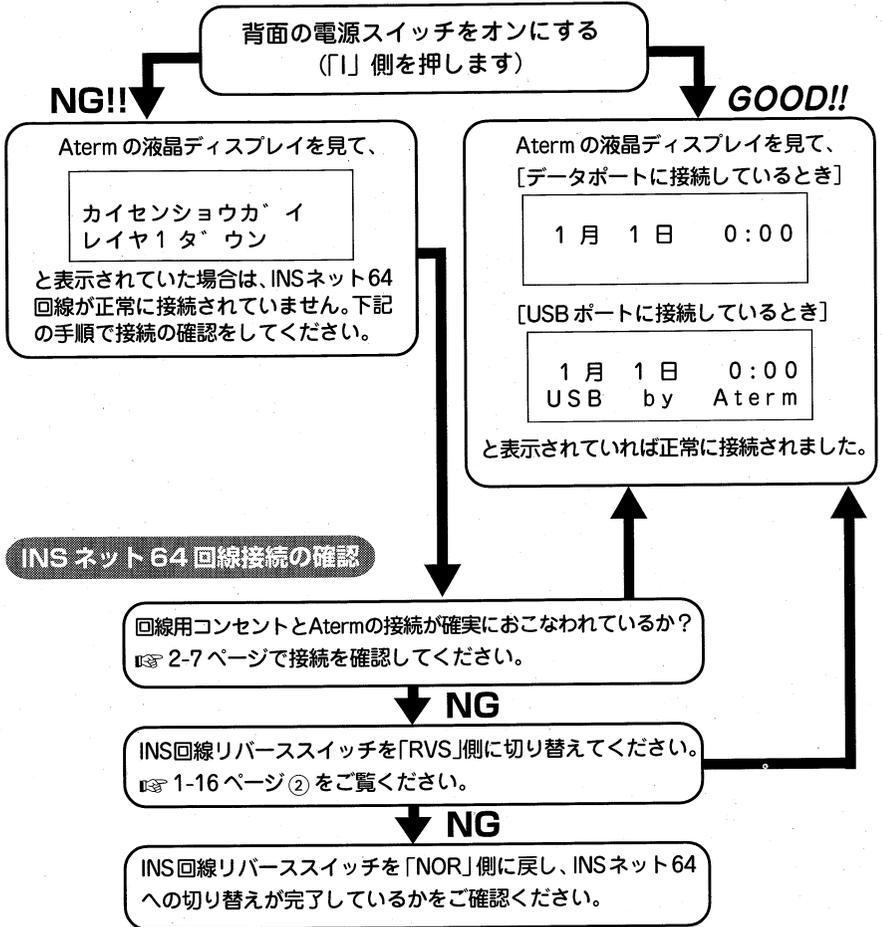


注意!

電源は、パソコンなどのスイッチと連動しているコンセントに接続しないで、壁などの電源コンセントに接続してください。電源が切られると停電モードになり電池で動作するので、電池を消耗します。

2-2. 電源を入れる

接続がすべて終わったら、アナログポートに接続した通信機器の受話器は置いたままの状態です。Atermの電源をオンにするときは、背面の電源スイッチの「I」側を押します。PWRランプが緑色に点灯します。



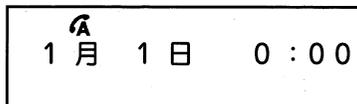
2-3.電話が使えることを確認する

Aterm の液晶ディスプレイ

ステップ1

Aterm に接続した電話機を受話器を上げます

「ツーン」という音が聞こえます。



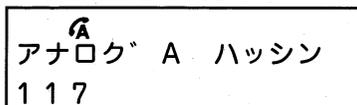
Aポートに接続した電話機
の受話器をあげた例

ステップ2

①①⑦ (時報)などをダイヤルし、

②# を押します

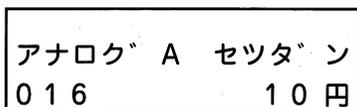
(②#)を押すとすぐにダイヤルします。(②#)を押さないと約5秒後にダイヤルします。)



ステップ3

つながったら、受話器を置きます

以上で Aterm の接続とその確認作業が完了しました。



切断理由

通話料金

(016 : 正常切断)



つながらないときには…

- Aポートに接続した電話の受話器をあげた時にAが表示されない場合はAtermと電話機が正しく接続されていないことが考えられます。電話機に添付のケーブルでしっかり接続してください。
- ダイヤルしても、「アナログAハッシン」が表示されない場合は、電話機の設定がトーン (PB) になっていることを電話機のマニュアルをご覧になって確認してください。

